

高等部 1 グループ 国語科 学習指導案

日時 : 令和 5 年 10 月 31 日 (火) 10 : 30 ~ 11 : 20
場所 : 高等部教室 3
生徒 : 3 年男子 2 人、3 年女子 1 人、計 3 人
指導者 : 櫻田 菜保

1 題材名

「相手の話を聞き取ろう③～せんぼくいきいき 5 デイズの成功に向けて～」

2 題材の目標

- (1) 順序や理由を表すときに使う言葉が分かる。(知・技)
- (2) 相手の話で分からない事柄には質問しながら、話の大体を聞き取る。(思判表)
- (3) 相手の話に関心をもち、分かったことを基に自分の考えをもつ。(学・人)

3 生徒と題材

(1) 生徒について

高等部 3 年男子 2 名、女子 1 名、計 3 名の学習グループである。3 名とも、好きなことや経験したことなどについて話をするのが好きで、学校ではそれらのことを話題にして友達や教師との関わりを楽しんでいる。一方で、自分の興味のあることを一方的に話したり、興味のない話や数分以上の話になると、相手の話に集中できなくなったりすることがある。相手の考えや思いを理解することは、コミュニケーション力を身に付けるためにも大事なことであり、今年度は「聞くこと」に重点を置いて国語科の学習に取り組んでいる。

併せて、障害の特性から気持ちを表情で表すことや相手の気持ちを読み取ることを苦手としている生徒たちでもあることから、自立活動の目標を学部で共有し、生活全般においても自立活動の内容としてコミュニケーションの指導にあたっている。

本題材実施前に生徒へ行った「聞くこと」に関するアンケートでは、話を聞くときに難しい、困ると思うことについて、「長い話を聞くこと」や「話がよく分からないこと」を挙げ、そのようなときは「分かっているふり」をしてしまうという回答だった。一方で、相手の話を聞くことに関して、「いろいろなことが分かり、迷いなく行動できる」「相手のことなど新しいことが分かる」「同じ話題で話が盛り上がる」という回答もあり、話の内容を理解して聞くことができるようになることへの期待感をもっている。

(2) 題材について

前題材「相手の話を聞き取ろう①～自分の好きな物・こと～」では、話の聞き方について良い例と悪い例を VTR で提示したところ、「相手の顔(目)を見ること」「話を聞くときにうなづくこと」「相づちを打つこと」「間の取り方」の大切さに気付き、普段の学習でも少しずつ意識できるようになった。また、「相手の話を聞き取ろう②～放送文『ペンギンショーを見に行こう』を聞いて～」では、教師が読み上げる 120 字程度の放送文を聞いて、要点を落とさずにメモを取ることができた。一方で、友達や教師の話や場面では、自分の興味のある言葉や話の一部に気を取られて反応することが多く、話の大体を捉えることに課題があった。

本題材は、「せんぼくいきいき 5 デイズ」(※1)を成功させるために、自分の役割に関する事柄を教師に自分から質問し、各活動を実施するために必要な情報や来年度よりよい行事にするために必要な情報を聞き取り、考えをまとめる学習である。本題材で得た情報は、総合的な探究の時間や観光科の学習と関連付け、自分のやるべき活動を考えて計画を立てたり、最終的には下級生向けに「攻略本～せんぼくいきいき 5 デイズ成功への道～」を作成したりする学習に生

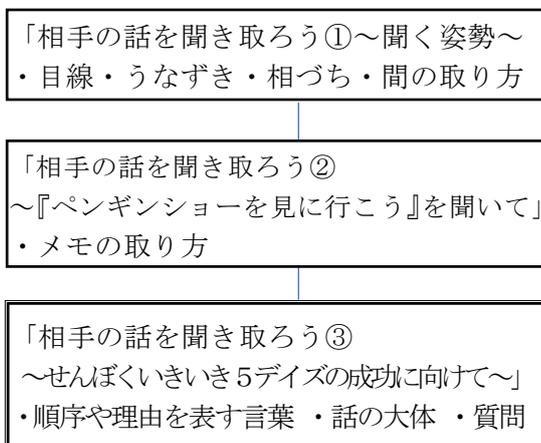
かす。

また、実際に経験した「せんぼくいきいき5デイズ」を題材とするため、学習へのイメージをもちやすく、興味・関心をもって取り組めると考える。また、来年に向けてよりよい行事にするために必要な情報を聞き取ることは、最上級生である生徒たちにとって、卒業を前に上級生としての役割を果たすという自己有用感を感じながら、意欲的に取り組める内容であると考え。さらに、話の大体を捉える力は、卒業後の社会生活や生活の様々な場面で生かすことができると考え、本題材を設定した。

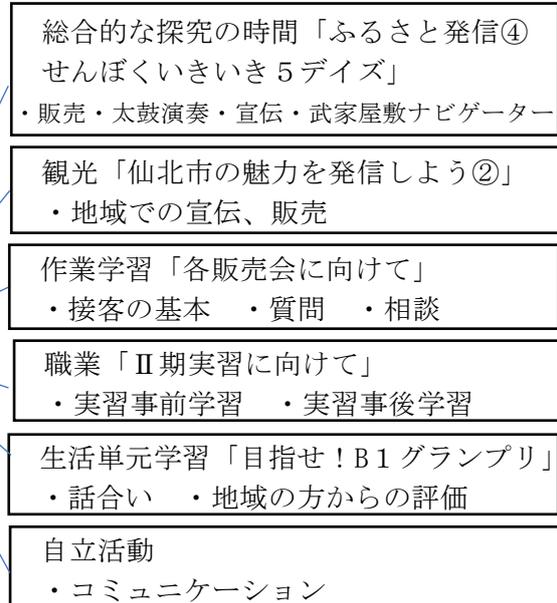
- ※1) せんぼくいきいき5デイズ・・・全校児童生徒が地域で、小学部が宣伝活動、中学部が作業学習の紹介と製品販売、高等部が太鼓演奏や作業学習製品販売、宣伝、武家屋敷の案内をする行事で、10月23日から27日までの5日間行う。生徒も実行委員として計画等をしている。

○本題材で身に付けたい力に関連する他教科等の単元と指導内容等

【国語科】



【各教科等、各教科等を合わせた指導】



- (3) 指導上の留意点 ※ゴシック体は「児童生徒一人一人が主体的に学び、学びを広げる姿」との関連を示す。

【学習への興味・関心】

- ・生徒が興味・関心をもてるよう、生徒が実際に経験した行事を題材とし、関わりを広げるために、話し手については担任以外の教師に依頼する。
- ・話を聞いて内容を理解することの必要性が分かり、話を聞いて「分かった」「できた」という実感をもつことができるように、自己評価の時間を設定したり、聞いてよかった内容を伝え合ったりする。

【話の大体の理解】

- ・話の大体を理解するために、順序や理由を表す言葉が分かるように、分類表を提示する。
- ・話の大体を聞き取ることができるように、担当の教師には、「はじめに」「次に」など順序を表す言葉や、「なぜなら」など理由を表す言葉を入れた大まかな話型を設定し、それに沿った話の内容を依頼する。

【環境設定等】

- ・見通しをもって学習に取り組めるように、学習の流れをホワイトボードに提示する。
- ・様々な場面で聞く姿勢について意識できるように、ホワイトボードに聞く姿勢や相づちの言葉について表「いな運送」(※2)にまとめたものを掲示したり、様々な学習の場面で担任以外

の教師からも、聞く姿勢について称賛される機会を多く設定したりする。

【発問】

- ・ 1時間の授業の中で発問を限定し、言葉掛けをできるだけ控える。

※2) 「いな運送」：「人間関係づくりの演習と道徳①」～「いな運送」で認め合う温かい人間関係づくりを～土田雄一著, 光文書院

4 指導計画（総時数8時間）

小題材名・時数	主な学習活動	準備物																								
「話を聞くときにキーワードとなる言葉を知ろう」（1時間）	・ 順序や理由を表す言葉などを見付け、意味ごとに分類する。	・ 計画表 ・ 分類表 ・ カード等																								
「キーワードを使って話そう・聞こう」（1時間）	・ 順序や理由を表す言葉を使って話したり、友達の話を聞いたりする。	・ 計画表 ・ 分類表 ・ ワークシート																								
「先生に聞こう・質問しよう」（5時間） 本時4/5	<p>・ 「せんぼくいきいき5デイズ」の太鼓演奏や販売、ナビゲーションについて、担当の生徒が教師に質問し、話を聞き取る。</p> <p>・ 自分や友達の聞き取り方で良かった点と理由を話し合う。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>学習内容</td> <td>担当生徒</td> <td>話のテーマ</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>順序を表す言葉</td> <td>K・K</td> <td>太鼓演奏</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>S・K</td> <td>武家屋敷ナビゲーション</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>理由を表す言葉</td> <td>S・N</td> <td>販売</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※聞き取った内容は、総合的な探究の時間や観光科の学習の中でまとめる。</p>		学習内容	担当生徒	話のテーマ	①	順序を表す言葉	K・K	太鼓演奏	②		S・K	武家屋敷ナビゲーション	③	理由を表す言葉	S・N	販売	④				⑤				・ 分類表 ・ カード ・ 計画表 ・ ワークシート
	学習内容	担当生徒	話のテーマ																							
①	順序を表す言葉	K・K	太鼓演奏																							
②		S・K	武家屋敷ナビゲーション																							
③	理由を表す言葉	S・N	販売																							
④																										
⑤																										
「言葉がもつ意味をまとめよう」（1時間）	・ 学習を振り返り、注意する言葉を知って話を聞き取ったことを通して、話の大体を聞き取るための必要なことや工夫できることをまとめる。	・ 計画表 ・ 分類表 ・ ワークシート等																								

5 題材における個人目標（題材終了後に評価欄に◎、○、△を記入）

生徒	本題材前の学習状況・課題	観点	個人目標	評価	国語科の段階・目標・内容
K・K 3年 (男)	<p>・ 順序や理由を表す言葉をいくつか知っているが、気になる言葉に関心がそれることがある。</p> <p>・ 集中力が短く、3分間程度の話になると、途中で聞くことを諦める場合が多い。</p>	知・技	・ 順序や理由を表す様々な言葉が分かる。		<p>国語科中1段階</p> <p>(1) 目標 ア</p> <p>(2) 内容 [知・技] イ(ア)</p> <p>[思判表] ア</p>
		思判表	・ 情報で抜けているところがあれば質問をして、話の大体を聞き取る。		
		学・人	・ 相手の話を関心をもって聞き、分かったことを基に自分の考えをもつ。		

S・K 3年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> 順序や理由を表す言葉をいくつか知っていて、文章を読んで抜き出すことができる。 文章を読んで、話の大体を捉えることができるが、聞く場面では、興味のある言葉に関心があることがある。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 順番や理由を表す様々な言葉が分かる。 	国語科中2段階 (1) 目標 ア (2) 内容 [知・技] イ(ア) [思判表] ア
		思判表	<ul style="list-style-type: none"> 情報で抜けているところがあれば質問して、話の大体を聞き取る。 	
		学・人	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を関心をもって聞き、分かったことを基に自分の考えをもつ。 	
S・N 3年 (女)	<ul style="list-style-type: none"> 順序や理由を表す言葉には、気付いていないことが多い。 聞く態度は備わっているが、話の内容は理解していないことが多い。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 順序や理由を表す言葉が分かる。 	国語科中1段階 (1) 目標 ア (2) 内容 [知・技] イ(ア) [思判表] ア
		思判表	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の話から、話の大体を聞き取る。 	
		学・人	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を関心をもって聞く。 	

6 本時の計画

(1) 本時の目標

- 「せんぼくいきいき5デイズ」での活動に関する教師や友達の話の中で、理由を表す言葉に注意し、理由を聞き取る。(知・技) (思・判・表)

(2) 生徒の個人目標と手立て

生徒	本時の個人目標	手立て
K・K 3年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> 理由以外の内容を含む2～3分程度の教師の話から、「なぜなら(どうしてかという等)」という理由を表す言葉に注意して、理由を聞き取る。 友達の話を聞き、理由を表す言葉を使ってクイズに正しく答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞く前に、理由を表す言葉を分類表で確認したり、教師が話す理由を表す言葉を予想したりする時間を設定する。 理由を表す言葉を使って答えられるように、発表を聞く前にどんな言葉があるか問い掛ける。
S・K 3年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> 理由以外の内容を含む2～3分程度の教師の話から、「なぜなら(どうしてかという等)」という理由を表す言葉に注意して、理由を聞き取る。 友達の話を聞き、理由を表す言葉を分類表から選んで使い、クイズに正しく答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞く前に、理由を表す言葉を分類表で確認したり、教師が話す理由を表す言葉を予想したりする時間を設定する。 理由を表す言葉を選べるように、縮小した分類表を手元に提示する。
S・N 3年 (女)	<ul style="list-style-type: none"> 事実と理由で構成された教師の短い話の中から「なぜなら(どうしてかという等)」という言葉に注意して、理由を聞き取る。 友達の話を聞き、理由を表す言葉を2～3の選択肢から選んで使い、クイズに正しく答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 注意して聞く言葉が分かるように、理由を表す言葉を、ワークシートに示しておく。 理由を表す言葉を選べるように、ワークシートに選択肢を示しておく。

(3) 展開

時間	学 習 活 動	指導の手立てと留意点
5分	1 前回までの学習の振り返りとめあての確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までどんな言葉に注意して話を聞き取ったか振り返ることができるように、前時の聞き取りの様子を動画で提示する。 ・学習課題を提示し、前時に学習した理由を表す言葉（「理由は～だからです。」）以外に、どんな言葉があるか問い掛ける。 ・学習課題について、個人で考え、ワークシートやホワイトボードに書く時間を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><学習課題>理由を聞き取るためには、どんな言葉に注意して聞くとよいだろうか。</p> </div>
15分	2 自分が担当した活動について、担当教師の話の聞き取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ K・K (2階廊下) 活動：太鼓演奏 ・ S・K (2階廊下) 活動：ナビゲーター ・ S・N (多目的室2) 活動：販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・責任をもって聞き取ろうという気持ちをもてるように、担当教師に個別に話を聞きに行く。 ・教師が話す理由を表す言葉を予想できるように、分類表を提示し、ワークシートに記入する時間を設定する。 ・教師には、「なぜなら」などの理由を表す言葉を入れた台本を読んでもらうように依頼しておく。 ・理由に関係する内容をメモできるように、空欄の入ったワークシートに記入するように伝える。聞き取れなかった内容については、自分から質問するよう促す。
20分	3 聞き取った内容についてクイズをする。 ① 聞き取った内容の確認・修正 ② クイズの考案 ③ 聞き取った内容の発表・クイズ	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのメモの内容を確認し、誤っていたり、不足していたりする場合は言葉掛けし、担当の教師に再度聞きに行くよう伝える。 ・短時間でクイズを作ることができるように、空欄を含む定型文「〇〇なのは、どうしてでしょうか。」を提示する。 ・理由を聞き取ることができるように、理由を表す言葉に注意して聞くように伝える。 ・クイズに答えるときは、「どんな言葉を使って答えるとよいですか。」などと問い掛け、「なぜなら」などの理由を表す言葉を使うことを確認する。
10分	4 本時の学習を振り返り、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標の達成度が分かるように、まとめの「」内を空欄にして提示する。 ・本時に学習した理由を表す言葉について生徒たちの言葉でまとめられるように、個人で書く時間を設定し、ホワイトボードに追記するよう伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><まとめ> 「なぜなら (どうしてかというと等)」に注意して聞くと、「理由」が分かる。</p> </div>

(4) 本時の評価の観点

○生徒

- ・「なぜなら (どうしてかというと等)」などの理由を表す言葉に注意して、理由を聞き取ることができたか。
- ・相手の話に関心をもって話を聞くことができたか。

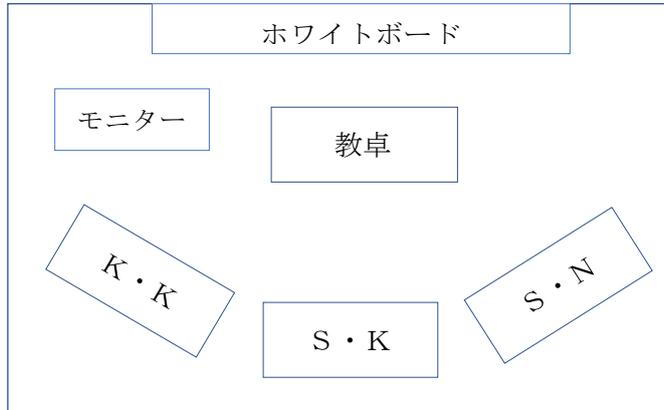
○教師

- ・生徒が理由を聞き取ったり、自分の考えを話したりするための学習の展開を工夫できたか。
- ・問いや学習課題、まとめの言葉が、生徒にとって分かりやすいものであったか。

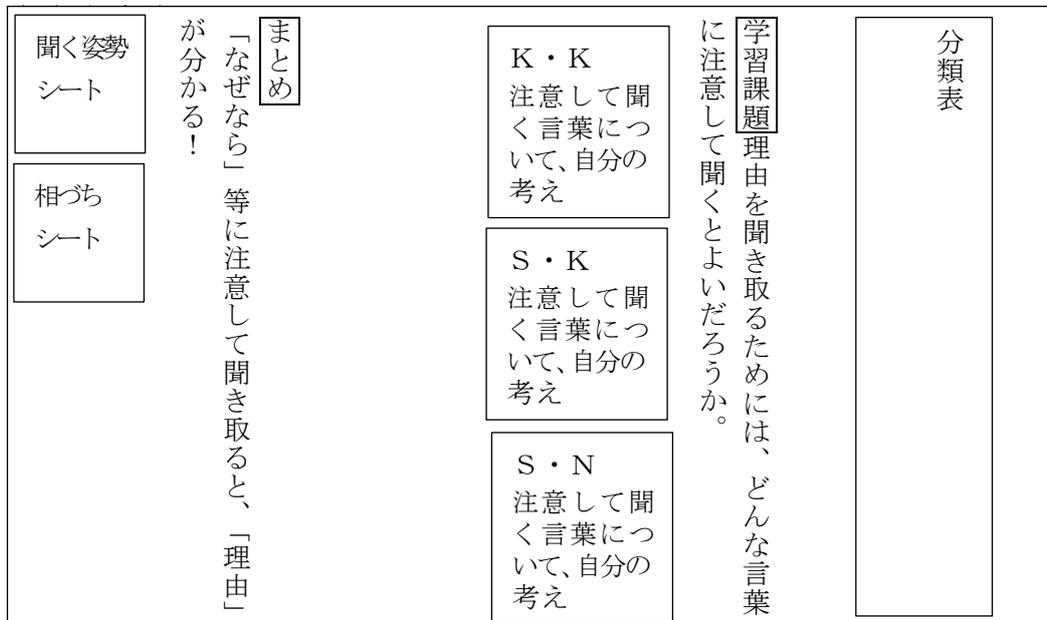
(5) 準備物

分類表、学習の順序を示した物、理由をまとめる表、カード、ワークシート

(6) 配置図



(7) 板書計画



※分類表は、必要に応じて提示する。

聞く姿勢シートと、相づちシートは、常時掲示しておく。

(8) 教材について

1) 教師の話の内容 (概要)

【太鼓演奏】

- ・悪天候の日の太鼓演奏をどうするか
- ・協力することなど、太鼓演奏の心得

【武家屋敷ナビゲーター】

- ・お客さんへの言葉の掛け方やエスコートの仕方など、武家屋敷ナビゲーターとしての心得

【販売】

- ・試食や外国の方への商品紹介など、販売の担当としての心得

2) ワークシート 別紙参照 (1点)

3) 分類表 別紙参照